



たいじょうほうしん
带状疱疹

川口市立医療センター 皮膚科 **まつうら だいすけ 松浦 大輔**

近年、带状疱疹にかかる人が増えています。带状疱疹は、水痘(みずぼうそう)の原因となるウイルス(varicella zoster virus)が体内に潜伏し続け、病後や疲労、ストレス、加齢などによって免疫力が低下することによりウイルスが再活性化して発症に至ります。

症状は神経に沿って現れ、体の左右どちらかに起こる激しい神経痛と、皮膚に帯状の水疱が形成されます。水疱は、疱疹と呼ばれる小さい水疱の集簇*を特徴として赤く腫れる症状がみられます。

患者数が増えている背景としては、高齢化に加え、抗がん剤治療など、免疫力の低下を伴う治療を受ける人が増えていることが考えられます。発症した場合は、抗ウイルス薬による治療が有効であり、短期間で水疱を治す効果が期待できます。一方で、神経痛に対する治療はアセトアミノフェンやロキソプロフェンなどの消炎鎮痛薬、プレガバリンなどの疼痛治療薬や、トラマールなどの非麻薬性オピオイド鎮痛薬などによる対症療法が中心となります。薬で十分な効果が得られない場合は、神経ブロックなどの外科的治療を行うこともありますが、それでも長期間激しい痛みを苦しむ場合もあります。

このような慢性的な痛みを予防するために、現在ではワクチン接種が推奨されています。ワクチンは生ワクチンと不活化ワクチンの2種類があり、それぞれ接種回数や接種方法などに違いがあります。ワクチンを接種しても発症を完全に防ぐことはできませんが、発症時の疼痛を軽減することが期待できます。

本市では、带状疱疹ワクチンに対する助成(→25ページ)を行っていますので、接種を検討されるかたは一度かかりつけ医へご相談ください。

*集簇…多くのものが群がり集まること、または一箇所に密集している状態

お肉はしっかり加熱で食中毒予防！

食中毒を引き起こす細菌は、高温多湿を好むため、梅雨から残暑にかけて活発に増殖することから、細菌による食中毒が発生しやすくなります。



牛、豚、鶏などの肉には、細菌が多く存在しています。食中毒を防ぐためには、生肉や加熱が不十分な肉料理を食べないことが重要です。

細菌が入り込んでいる可能性が高い肉には 厳重な注意が必要

細菌が入りやすい肉の例

- ・肉や脂をつなぎ合わせた成型肉 ・ひき肉
- ・筋切りした肉 ・タレに漬け込んだ肉
- ・内臓肉(レバーなど)

また、手指やまな板を介して細菌などが付着した野菜などを生で食べたりして、食中毒が発生するケースもあります。

焼肉やバーベキューでも注意しましょう

- ⚠ 肉の中心部まで加熱を徹底して、生焼けのまま食べないようにしましょう
- ⚠ 焼く前の生肉に触れた調理器具と、焼けた肉を取る調理器具を使い分けましょう



問 保健所食品衛生課

☎048-423-7889 FAX048-423-8852

川口市の 官民連携地域情報ウェブサイト



イベント情報もチェック

Trio Kawaguchiとは
行政情報だけでなく、地域やお店の情報など、さまざまな川口の情報が集まる川口市公式の地域情報ウェブサイトです。



きゃぼらんグッズ

広報課(第一本庁舎6階)で好評発売中♪



ワンポイント 手話講座

今月は「夏休み」を紹介します。「夏」と「休み」の手話を組み合わせて表現します。

①夏

手でうちわや扇子を持って、あおぐ動作。



②休み

両手の手のひらを下に向け、左右から寄せて中央で合わせる。長い休みの時には「休み」を繰り返す。



問 障害福祉課

☎048-259-7926 FAX048-259-7943

川口市 広報課 職員による
ちょっとだけた？ 市政情報番組

85.6 MHz City Information

FM Kawaguchiで放送中

放送日・平日の10分間…10:00、13:50、17:50、20:00

ぜひご利用ください

暮らしに役立つ情報が満載

きらり川口情報メール